

死亡数、死亡率(出生10万対)、割合(%)²⁾

表6.16 年次別にみた

年次	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	死因	死亡数 死亡率 (割合)	死因	死亡数 死亡率 (割合)	死因	死亡数 死亡率 (割合)	死因	死亡数 死亡率 (割合)	死因	死亡数 死亡率 (割合)
昭和45年	先天異常	3 914 202.4 (15.4)	出生時損傷等	3 757 194.2 (14.8)	肺炎及び 気管支炎	3 295 170.4 (12.8)	詳細不明 の未熟児	2 547 131.7 (10.0)	その他の新 生児の異常	2 109 109.0 (8.3)
50	先天異常	4 072 214.2 (21.3)	出生時損傷等	3 314 174.3 (17.3)	肺炎及び 気管支炎	1 720 90.5 (9.0)	詳細不明 の未熟児	1 446 76.0 (7.6)	その他の新 生児の異常	1 255 66.0 (6.6)
54	出産時外傷等	4 140 252.0 (32.0)	先天異常	3 323 202.3 (25.7)	詳細不明 の未熟児	867 52.8 (6.7)	不慮の事故 及び有害作用	710 43.2 (5.5)	肺炎及び 気管支炎	669 40.7 (5.2)
55	出産時外傷等	3 885 246.4 (32.8)	先天異常	3 131 198.6 (26.4)	不慮の事故 及び有害作用	659 41.8 (5.6)	詳細不明 の未熟児	658 41.7 (5.6)	肺炎及び 気管支炎	588 37.3 (5.0)
56	出産時外傷等	3 636 237.7 (33.4)	先天異常	2 927 191.4 (26.9)	不慮の事故 及び有害作用	588 38.4 (5.4)	肺炎及び 気管支炎	490 32.0 (4.5)	詳細不明 の未熟児	487 31.8 (4.5)
57	出産時外傷等	3 340 220.4 (33.5)	先天異常	2 764 182.4 (27.7)	不慮の事故 及び有害作用	525 34.6 (5.3)	肺炎及び 気管支炎	391 25.8 (3.9)	詳細不明 の未熟児	374 24.7 (3.8)
58	出産時外傷等	2 856 189.3 (30.4)	先天異常	2 730 181.0 (29.0)	不慮の事故 及び有害作用	585 38.8 (6.2)	肺炎及び 気管支炎	345 22.9 (3.7)	詳細不明 の未熟児	332 22.0 (3.5)

死亡数、死亡率(出生10万対)、割合(%)²⁾

表6.17 年次別にみた

年次	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	死因	死亡数 死亡率 (割合)	死因	死亡数 死亡率 (割合)	死因	死亡数 死亡率 (割合)	死因	死亡数 死亡率 (割合)	死因	死亡数 死亡率 (割合)
昭和45年	出生時損傷等	3 742 193.5 (22.4)	詳細不明 の未熟児	2 428 125.5 (14.5)	その他の新 生児の異常	2 066 106.8 (12.3)	先天異常	1 903 98.4 (11.4)	肺炎及び 気管支炎	1 108 57.3 (6.6)
50	出生時損傷等	3 298 173.4 (25.5)	先天異常	2 119 111.4 (16.4)	詳細不明 の未熟児	1 376 72.4 (10.7)	その他の新 生児の異常	1 234 64.9 (9.6)	母体の妊娠時 の疾患による 新生児の障害	956 50.3 (7.4)
54	出産時外傷等	4 036 245.7 (47.0)	先天異常	1 760 107.1 (20.5)	詳細不明 の未熟児	853 51.9 (9.9)	肺炎及び 気管支炎	202 12.3 (2.4)	新生児の出血 及び新生児出 血性疾患	146 8.9 (1.7)
55	出産時外傷等	3 752 237.9 (48.1)	先天異常	1 624 103.0 (20.8)	詳細不明 の未熟児	650 41.2 (8.3)	肺炎及び 気管支炎	173 11.0 (2.2)	敗血症(新 生児敗血症 を含む)	152 9.6 (1.9)
56	出産時外傷等	3 494 228.4 (48.6)	先天異常	1 538 100.6 (21.4)	詳細不明 の未熟児	481 31.4 (6.7)	敗血症(新 生児敗血症 を含む)	222 14.5 (3.1)	肺炎及び 気管支炎	142 9.3 (2.0)
57	出産時外傷等	3 190 210.5 (49.6)	先天異常	1 447 95.5 (22.5)	詳細不明 の未熟児	366 24.2 (5.7)	敗血症(新 生児敗血症 を含む)	169 11.2 (2.6)	肺炎及び 気管支炎	105 6.9 (1.6)
58	出産時外傷等	2 683 177.8 (45.5)	先天異常	1 501 99.5 (25.5)	詳細不明 の未熟児	323 21.4 (5.5)	敗血症(新 生児敗血症 を含む)	174 11.5 (3.0)	肺炎及び 気管支炎	80 5.3 (1.4)

注: 1) 死因順位の選び方については巻末(318, 319ページ)の参考表を参照されたい。なお、死因名は昭和53年までは前記参考表2, 54年以降は参考表1による。

2) 死亡率は、出生10万対、割合は、乳児又は新生児死亡数を100とした場合の百分率である。

乳児の死因順位¹⁾

第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
死因	死亡数 死亡率 (割合)	死因	死亡数 死亡率 (割合)	死因	死亡数 死亡率 (割合)	死因	死亡数 死亡率 (割合)	死因	死亡数 死亡率 (割合)
不慮の事故	1 142 59.0 (4.5)	母体の妊娠時 の疾患による 新生児の障害	1 081 55.9 (4.3)	新生児の 出血性疾患	972 50.3 (3.8)	胃腸炎	921 47.6 (3.6)	腸閉塞及び ヘルニア	424 21.9 (1.7)
母体の妊娠時 の疾患による 新生児の障害	956 50.3 (5.0)	不慮の事故	919 48.3 (4.8)	新生児の 出血性疾患	612 32.2 (3.2)	心疾患	353 18.6 (1.8)	胃腸炎	336 17.7 (1.8)
心疾患	230 14.0 (1.8)	敗血症(新 生児敗血症 を含む)	198 12.1 (1.5)	髄膜炎	170 10.3 (1.3)	その他の外因	169 10.3 (1.3)	新生児の出血 及び新生児出 血性疾患	162 9.9 (1.3)
心疾患	266 16.9 (2.2)	敗血症(新 生児敗血症 を含む)	231 14.6 (2.0)	その他の外因	161 10.2 (1.4)	髄膜炎 {新生児の出血 及び新生児出 血性疾患}	132 8.4 (1.1)		
敗血症(新 生児敗血症 を含む)	286 18.7 (2.6)	心疾患	225 14.7 (2.6)	その他の外因	151 9.9 (1.4)	髄膜炎	116 7.6 (1.1)	新生児の出血 及び新生児出 血性疾患	93 6.1 (0.9)
敗血症(新 生児敗血症 を含む)	238 15.7 (2.4)	心疾患	209 13.8 (2.1)	髄膜炎	134 8.8 (1.3)	その他の外因	126 8.3 (1.3)	新生児の出血 及び新生児出 血性疾患	88 5.8 (0.9)
敗血症(新 生児敗血症 を含む)	267 17.7 (2.8)	心疾患	200 13.3 (2.1)	その他の外因	164 10.9 (1.7)	髄膜炎	91 6.0 (1.0)	悪性新生物	71 4.7 (0.8)

新生児の死因順位¹⁾

第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
死因	死亡数 死亡率 (割合)	死因	死亡数 死亡率 (割合)	死因	死亡数 死亡率 (割合)	死因	死亡数 死亡率 (割合)	死因	死亡数 死亡率 (割合)
母体の妊娠時 の疾患による 新生児の障害	1 081 55.9 (6.5)	新生児の 出血性疾患	954 49.3 (5.7)	新生児溶 血性疾患	298 15.4 (1.8)	心疾患	163 8.4 (1.0)	腸閉塞及び ヘルニア	153 7.9 (0.9)
新生児の 出血性疾患	604 31.8 (4.7)	肺炎及び 気管支炎	536 28.2 (4.2)	心疾患	142 7.5 (1.1)	新生児溶 血性疾患	111 5.8 (0.9)	敗血症	103 5.4 (0.8)
敗血症(新 生児敗血症 を含む)	137 8.3 (1.6)	髄膜炎	73 4.4 (0.8)	不慮の事故 及び有害作用	69 4.2 (0.8)	その他の外因	65 4.0 (0.8)	同種免疫に よる新生児 溶血性疾患	25 1.5 (0.3)
新生児の出血 及び新生児出 血性疾患	121 7.7 (1.6)	不慮の事故 及び有害作用	79 5.0 (1.0)	髄膜炎	71 4.5 (0.9)	その他の外因	70 4.4 (0.9)	心疾患	42 2.7 (0.5)
不慮の事故 及び有害作用	91 5.9 (1.3)	新生児の出血 及び新生児出 血性疾患	80 5.2 (1.1)	その他の外因	64 4.2 (0.9)	髄膜炎	55 3.6 (0.8)	心疾患	28 1.8 (0.4)
新生児の出血 及び新生児出 血性疾患	67 4.4 (1.0)	その他の外因	64 4.2 (1.0)	髄膜炎	49 3.2 (0.8)	不慮の事故 及び有害作用	34 2.2 (0.5)	心疾患	30 2.0 (0.5)
その他の外因	75 5.0 (1.3)	新生児の出血 及び新生児出 血性疾患	56 3.7 (1.0)	不慮の事故 及び有害作用	50 3.3 (0.8)	心疾患	27 1.8 (0.5)	髄膜炎	25 1.7 (0.4)

3) 昭和45, 50年の「出生時損傷等」は出生時損傷、難産及びその他の無酸素症、低酸素症である。
昭和54年以降の「出産時外傷等」は出生時外傷、低酸素症、分娩死及びその他の呼吸器病態である。